

第 47 回眼科メディカルスタッフスクーリング確認試験

【光学の基礎】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各 1 点)

- 1) 光は電磁波の一種である。
- 2) 球面レンズには、光を収束させる凹レンズと光を発散させる凸レンズがある。
- 3) 円柱レンズでは、軸と直角の方向に度が入っている。
- 4) 光の速さは密度の高い物質を通過するとき速くなる。
- 5) 1プリズムジオプトリーのレンズにより光の屈折される角度は 0.5° である。

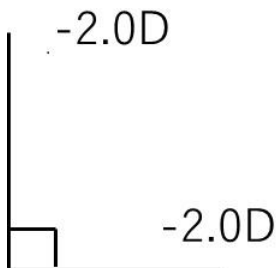
【視力検査】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各 1 点)

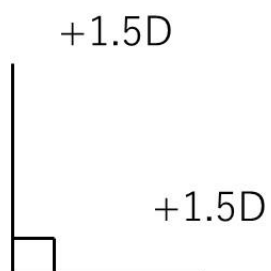
- 6) 単に視力と言えば遠見の矯正視力を意味する。
- 7) 近見視力は 40 cm の距離で測定する。
- 8) 裸眼視力が不良なものは屈折異常の可能性がある。
- 9) 視力検査は患者の集中力を高めるためじっくりと行う。
- 10) 視角が 5 分なら視力は 0.2 である。
- 11) 0.1 の視標を 2m の位置まで近づけて見える場合の視力は 0.04 である。
- 12) 近視は屈折力が弱いため網膜の手前で焦点を結ぶ。
- 13) 乱視は円柱レンズで矯正する。
- 14) 所持眼鏡の度数はレンズメーターで測定する。
- 15) 実際の視線は瞳孔中心より 1mm 内側通る。

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各 2 点)

- 16) 次のレンズは S-2.0D と表記する。



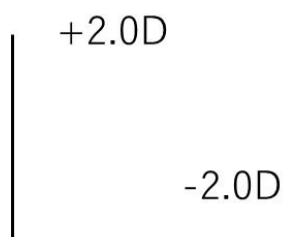
17) 次のレンズは $S+1.5D$ と表記する。



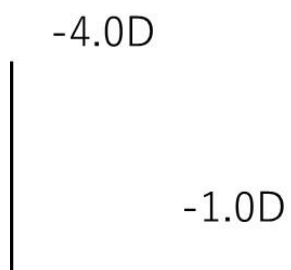
18) 次のレンズは $S-2.0D=C-2.0DAx180$ と表記する。



19) 次のレンズは $S+2.0D=C-4.0DAx180$ と表記する。



20) 次のレンズは $S-4.0D=C+3.0DAx90$ と表記する。



【屈折、調節とその異常】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 21) $C+1.5D A90^\circ$ は単性遠視性直乱視である。
- 22) $S+0.75D=C+2.0D A180^\circ$ は混合(雑性)倒乱視である。
- 23) $S+1.0D=C-3.5D A90^\circ$ は複性遠視性倒乱視である。
- 24) $S-1.0D=C-1.5D A90^\circ$ は複性近視性直乱視である。
- 25) $C-2.0D A180^\circ$ は単性近視性直乱視である。

【視器の構造】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 26) 眼球外膜は角膜・強膜でできている。
- 27) ぶどう膜は、虹彩、毛様体、脈絡膜の総称である
- 28) 眼球内膜は、脈絡膜に相当する。
- 29) 眼球内容は、房水、水晶体、虹彩で構成されている。

【自覚的屈折検査、眼鏡処方】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 30) 自覚的屈折検査では、調節が入りやすいので、調節麻痺剤や、雲霧法を使うことがある。
- 31) 屈折検査で調節が加わると、測定される屈折度は本来より近視よりの値が出る。
- 32) 矯正には、近視の場合は、最良視力を得られる最強度の凹レンズを選び、遠視の場合は最良視力を得られる、最弱度の凸レンズを採用する。
- 33) 自覚的乱視検査としては、乱視表による方法や、クロスシリンダーを用いる方法がある。
- 34) 矯正レンズの過不足検査には、二色テストを行う、近視眼では、緑がはっきり見えると低矯正である。
- 35) 左右レンズの光学中心間距離は、患者の瞳孔間距離と一致しており、患者の角膜中央からレンズ後面までの頂点間距離は、約 20mm とする。

【他覚的屈折検査】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 36) 網膜に焦点を合わずとき、そのほとんどを水晶体の屈折力が担っている。
- 37) オートレフケラトメーターで若年者の他覚的屈折度を測定する場合、近視は多め、遠視は少なめの結果が出ている可能性がある点に注意すべきである。
- 38) 検影法でも調節動態を測定することができる。
- 39) 調節麻痺剤点眼の中で、サイプレジン点眼が最も効果が強く、効果の持続時間も長い。
- 40) 携帯型レフラクトメーターが全国多くの自治体の3歳児健診で用いられるようになったが、これにより屈折異常や眼位異常の早期発見につながることを期待されている。

【視機能について(屈折以外)】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 41) 中心外視力とは、黄斑中心窩から外れた部分の視力をいい、中心視力に比べると不良である。
- 42) 両眼で見た視力を、両眼視力あるいは両眼開放視力という。
- 43) 視野は固視点を中心として、固視点より約30°以内の視野を中心視野、それよりも外側の視野を周辺視野という。
- 44) 小児や弱視では、字づまり視力のほうが、字ひとつ視力よりも不良であり、この現象を読み分け困難という。
- 45) 両眼視機能とは、同時視、融像、視差、立体視がある。
- 46) 色覚異常は男性よりも女性に多く見られる。
- 47) 眼球運動の中枢は脳皮質にあり、眼球運動にはひき運動、むき運動、よせ運動、まわし運動がある。
- 48) 内直筋、上直筋、上斜筋、下直筋は動眼神経支配である。
- 49) 立体視とは物を立体的に見る感覚で、立体視は片目でも成立する。
- 50) 近くのものを見るときに、調節、輻輳とともに起こる瞳孔の縮小する現象を対光反射という。

【視野、眼圧検査】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 51) 消毒用アルコールは、眼表面に触れると角膜びらの原因となる。
- 52) ノンコンタクトトノメータでは、複数回の測定値の平均をとり測定精度を上げる。
- 53) 自動視野計による測定では、偽陰性応答が多いと、視野異常が本来より軽くなる。
- 54) 固視点の左側 15° にマリオット盲点がある視野は、左眼の視野である。
- 55) 自動視野計による閾値測定の結果で、10dB の点は 30dB の点に比べて、閾値における視標が 100 倍明るい。

【斜視の検査】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 56) 動眼神経麻痺では眼球が外下転し、眼瞼下垂が生じる。
- 57) 上斜筋麻痺は、頭部傾斜など特有の頭位異常を生じる。
- 58) ティトマス・フライ・テストは、赤緑フィルターを使って検査する。
- 59) 調節性内斜視の治療には斜視手術が必要である。
- 60) 片目つむりは乳児内斜視でよく見られる。

【コンタクトレンズの基礎】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 61) コンタクトレンズの慢性合併症は、アレルギー、ドライアイ、酸素不足である。
- 62) MPS(多目的用剤)を使用して CL をケアする時は、二日に一度こすり洗いをする。
- 63) MPS(多目的用剤)を使用して CL をケアする時、レンズケース内の残った MPS を捨てて水洗いして乾燥させる。
- 64) ソフトコンタクトレンズの標準的な直径は、約 9 ミリである。
- 65) Dk 値とは、コンタクトレンズ素材の酸素透過性を示す値である。

【角膜と屈折矯正手術】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 66) 屈折度が安定しているすべての屈折異常が対象となる。
- 67) エキシマレーザー手術では近視については原則として6Dまでが適応である。
- 68) 有水晶体眼内レンズ手術では、白内障例だけでなく浅前房や角膜内皮障害例もいい適応である。
- 69) SMILEは角膜上皮の切開範囲が小さいためドライアイを起しにくい。
- 70) 有水晶体眼内レンズ手術は角膜を削らない手術であるため、強度近視にも対応できるが、内眼手術であるため、術後感染性眼内炎のリスクがある。

【眼科疾患の基礎知識】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 71) 小学1年生の児童に眼瞼内反を認めた場合、成長と共に軽快することはないので手術が必要である。
- 72) 70歳の方に角膜びらんを伴う明らかな眼瞼内反を認めた場合、眼の強い異物感を自覚しているが軽快する可能性が高いので手術は必要ない。
- 73) ハードコンタクトレンズを長期使用していても、眼瞼下垂の原因となることはない。
- 74) ドライアイには、涙の質的な異常と量的な異常がある。
- 75) 白内障があれば、不自由なく良く見えていても積極的に手術を勧める。

【眼科用薬剤】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 76) 薬剤は、最も効率良く効果が出るような投与法が考えられている。
- 77) 初診の場合でも、眼底検査の為に散瞳薬を診察前に入れて良い。
- 78) 緑内障に用いられる降圧剤の第一選択は、 β ブロッカーである。
- 79) 点眼薬の種類を増やす場合、患者のコンプライアンスに注意する必要がある。
- 80) ジェネリックは安価な分、処方本数を増やす事が出来る。
- 81) ステロイド点眼で注意すべき副作用は、白内障、緑内障、感染である。
- 82) 点眼薬に含まれる防腐剤に対して副作用が出る場合がある。
- 83) 点眼薬は、点眼する量を増加させても効果は一定である。
- 84) 眼科用薬剤では、メチシリン耐性ブドウ球菌に有効な薬剤はない。
- 85) 抗生剤の点眼は、どの薬剤でも細菌全般に効果がある。

【眼科受付、医療保険】

次の文章の内容で正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(各1点)

- 86) 初診で来院された患者さんが保険証コピーを持参された。コピーでも、記号・番号、有効年月日等の資格確認ができれば保険診療として受け付けて良い。
- 87) 来院歴のある患者さんの病状に付き、保険会社から電話連絡があった。医師も忙しいのであったのでカルテ確認を行い、スタッフから病状を答えた。
- 88) スタッフの家族であったので診療にかかる一部負担金を徴収しなかった。
- 89) 薬剤院外処方箋の有効期限は4日間である。患者さんが調剤薬局へ行き忘れてしまい有効期限を過ぎてしまった場合、再度保険診療で薬剤院外処方箋を発行して良い。
- 90) 問診は医師の仕事である。問診票には患者氏名、年齢、性別、住所、電話番号、主訴、現病歴、既往歴(眼、全身)、家族歴、薬剤アレルギーなど必要項目が必要で、記載事項は個人情報として医師及びスタッフには守秘義務が生じる。
- 91) レセプト請求の最終的責任は、レセプトコンピューター入力や毎月の明細書請求を行う事務職員にある。
- 92) 日本の医療保険制度の特徴として、国民皆保険、現物給付、フリーアクセスがあげられる。種類として、社会保険(会社等の組織が主体となる職域保険)、国民健康保険(地域保険)、後期高齢者医療(75歳以上)、公費負担医療があり、各々の法別番号がある。
- 93) 同一慢性眼疾患であっても、前回受診から3ヶ月を経ている場合は、初診算定して良い。
- 94) 診療報酬点数は1点10円で請求する。窓口一部負担金徴収以外の医療費は、月毎にレセプトオンライン請求を行う。審査機関(国保・社保)で療養担当規則や各種法令に基づいているか原審査・再審査後、医療機関に支払われる。
- 95) レセプト点検は、単月点検(傷病名漏れ有無、診療行為)だけでなく、突合点検(薬剤適応症、処方量)、縦覧点検(眼科検査の算定頻度)にも留意することが大切である。